

九州がんセンター外来タイムス 新年号

No. 1 1

国立病院機構九州がんセンター

平成29年1月 5日発行

(2ヶ月に一度発行します。)

九州がんセンター外来タイムスについて

・当院では、広報活動のひとつとして外来などに来院された患者さん、ご家族の皆様に広く当院の情報や医療の情報などについてお知らせするため、本誌を発刊いたしております。

お気軽にお取りいただき、御拝読いただければと考えております。



臨床検査科についてご紹介します！

・明けましておめでとうございます。

新病院が昨年3月1日オープンし、はや1年が経とうとしています。

今回は、臨床検査科に関するニュースをお知らせいたします。

九州がんセンター臨床検査科では、平成28年7月から検査室の国際的品質保証となるISO15189の認定に向けてスタッフ一丸となって取り組んでいます。

ISOの正式名称は国際標準化機構（International Organization for Standardizations）です。

ISO15189の認定とは、第三者の適合性評価機関（日本適合性認定協会：JAB）による、品質の高い検査データの発信の為に能力の高い検査技術を有している検査室である事の評価、承認を受けるということです。ISO15189で求められている要求事項を要約すると、検査室のサービス利用者（患者さんや診療科の医師及び他の医療スタッフ）に品質の高い検査室サービスを提供することで、病気の診断及び治療に、より信頼性の高い検査データを提供することを目標としています。

認定を受けた検査室の検査データは、国内は勿論のこと海外の医療機関においても高い品質の検査データとして用いる事が可能となります。

九州がんセンター臨床検査科は、今後も「病む人の気持ち、そしてご家族の気持ち」を尊重し、患者さんやご家族の為に最良の検査データを提供していくことに取り組んでいきたいと考えています。



正月について

今回は正月について述べさせていただきます。

正月とは、その年の豊穰を司る歳神様をお迎えする行事です。1月1日から3日までを三が日と呼び、7日までを松の内と呼んでいます。

正月は家に歳神様をお迎えし、祝う行事です。歳神様は1年の初めにやってきて、その年の作物が豊かに実るように、また、家族みんなが元気に暮らせるように約束をしてくれる神様といわれています。

正月に門松やしめ飾り、鏡餅をお供えするのは、歳神様を心から歓迎するためのものです。

昔から、春には田の神、秋が終わると山の神、正月には歳神様が子孫繁栄を見守ってくれるといわれています。

今年の干支は酉年です、「酉」の本来の読みは「ゆう」といい、口の細い酒壺を描いたものであり、「酒」に関する字に用いられています。収穫した作物から酒を抽出する意味や、収穫できる状態である「実る」を示すそうです。今年が、皆さんにとって実り多き年でありますように。



頭の体操コーナー

•ここからは頭の体操を行うコーナーです、新年早々ですが是非参加してみてください。

(初級編)

- 1、お茶はお茶でも八百屋にあるお茶は？
- 2、1000枚の葉っぱがある場所は？
- 3、文句ばかりいっている動物は？

(中級編)

- 1、この国道は何処まで続く？
 - 2、福岡～山梨に行くためには何処を経由すれば良い？
 - 3、自転車かごにパンを9斤入れるとどうなる？
 - 4、象より大きく、蟻よりも小さいものは何？
- 初級編、中級編と回答できましたでしょうか。
回答は本誌の下の方にありますのでご覧ください。

解答 (初級編1 かぼちゃ、初級編2 千葉、初級編3 牛 (もうもう))

中級編1 尾張 (おわり)、中級編2 岡山、中級編3 パンク、中級編4 いるか)